33年卒業の2組

昭和33年卒　白井　日出男

私たち2組は在籍者数男子生徒22名、女子生徒25名の47名で卒業しました。お蔭をもちまして、現在30名とは連絡が取れ、クラス会案内の受け答えを行っており、他の15名とは音信が途絶えて居ります。それに物故者も2名居るのですが…。数えて見れば、卒業後45年が過ぎ去り、もう45年も経ってしまったのか、早いものだと思うのみです。

在学中の思い出には、当校講堂で、鈴木清太郎先生の指揮によるNHK交響楽団との共演によるボロディンの「韃靼人の踊り」の合唱、目黒高校での連合スポーツ大会、校内体育祭、今野善胤先生が学校長として赴任されて来られました折、鈴木清太郎先生の指揮のもと、歓迎する意味を込めて在校生一同合唱を持って迎えました。…学び舎の新しき父をいまぞ迎えん…と。今野善胤先生は歌で迎えられたのは初めてなので喜ばれたと言うことを知らされました。歌は人を喜ばせることが出来るものだなと思いました。

この2組のクラス会は木内璋親君、岩下六郎君が発起人となって一九六五年より毎年開催され、今回まで一度たりとて休まず、時には、関根和子さん、的場正君の協力を得て来られたとのことです。木内君、岩下君をはじめ幹事の役目を担ってくれた皆さんへ、紙上を借りて、衷心よりお礼申し上げます。

クラス会に出席してみると何十年振りかに会う、級友の顔、顔、顔、皆懐かしい顔、高校時代に戻った、と言うよりも真只中にいるように思えてきます。こういう状態に居ると不思議な事に、当時の元気が蘇った思いがします。

身体が思うように動くうちはクラス会開催を続けてもらいたいと願う次第です。それは級友皆の願いだと思います。

これは、二〇〇二年五月の出席者最多時の、クラス会の写真で担任の宮川亮一先生と本山佐紀子先生にもご出席頂きました。出席者一同、今も元気に暮らして居ります。

H14.5.25　クラス会

花の百名山をたずねて

昭和44年卒　大村　靜雄

青森県からの一週間の山行の途中の今年の七月一日、秋田県東北部の森吉山に登って来ました。

道の駅「阿仁マタギ」車中泊り、早朝森吉山へ、天候も穏やかで登山道脇にはシャクナゲが目を楽しませてくれる。登り始めて一時間四十分森吉山頂、山頂はにぎわっていたので先に足をのばす。山人平だ、一番のお花畑、ヒナザクラ、チングルマ等々、あまりの美しさに言葉がない。妻と二人で元気で登山ができる事を感謝した一日である。

感謝

昭和46年卒　田村　強

在学中活動を通じてさまざまな経験をさせていただき、多くの方々と親しくなることができ、いろいろな面でプラスになって喜んでおります。これもひとえに諸先生方のよきご指導とかわいい後輩たちの努力の賜物と感謝いたします。

今は北海道でクリーニング業、外食産業飲食店経営をしております。ぜひ北海道へきた時には寄って下さい。

最後になりましたけど、卒業年度を超えた同窓生の新しい交流の場となりますよう、心からお祈り申し上げます。

児童養護施設に携わって

神愛ホーム施設長　昭和33年卒　藤波　良也

今、私は、児童養護施設の仕事をしています。児童養護施設は、最近、急増している被虐待児を中心に、環境上養護を必要とする2才から18才の子どもを養育する施設です。41名います。

親と引き離されて児童養護施設で生活しなければならない子どもたちの心は、わたしたちの想像を絶する、心臓をえぐられる深刻な問題を抱えています。

子どもたちは、「親が憎い」、「親を恨む」思いの反面、親を追い求め続ける気持ちを胸にしながら、日々を送っているのです。

是非一度、来園してみてください。

施設の子供と本人は左から2人目
埼玉県入間郡　Tel 049-294-0040 神愛ホーム

平成16年は青葉会の総会・懇親会が開かれます。皆様お揃いでご参加ください。